

現代教会のあり方

レストレーション・ムーブメントに関する 包括的な視点からの分析と評価

—寄せ来る数々のムーブメントの中で、どのように日本の教会は進むべきか—



一宮基督教研究所主宰
<http://www.aguro.jp/>
安黒 務
aguro@mth.biglobe.ne.jp

C. レストレーション運動の定義：狭義と狭義

1. 狭義の「レストレーション運動」
2. 広義の「レストレーション運動」



A. 歴史神学軸：ペンテコステ主義に関する**歴史的鳥瞰図** の中における“**レストレーション運動**”の位置

1. ペンテコステ派とカリスマ派とを**同定**する
2. 歴史的・神学的**背景**
3. **北米**における**古典的ペンテコステ主義**
4. **南米**と**中米**におけるペンテコステ主義
5. **欧州**におけるペンテコステ主義
6. **アフリカ**のペンテコステ主義と“**霊**”による諸教会
7. **アジア**、**オーストラリア**、**太平洋**におけるペンテコステ主義
8. **カリスマ運動**と新ペンテコステ派
9. ペンテコステ派の**歴史**を**記述**すること



A-3.

北米における古典的ペンテコステ主義

1. ウィリアム・シーモアとアズサ通りのリバイバル
2. 分裂：“完了したみわざ”と“ワンネス”ペンテコステ主義
3. 三位一体に立つペンテコステ諸教派
4. 世界的な展開と癒しの伝道者たち
5. 初期の北米ペンテコステ主義を評価する



D. 広義のレストレーション運動の分析と評価： 初期北米ペンテコステ主義の評価する視点から

1. 神学と経験について

1. エキュメニカルな運動—共通の教理よりも、共通の経験
2. すぐに、教理的相違問題が浮上—異言と聖霊のパプテスマの関係、洗礼の式文の問題

2. 初期ペンテコステ主義の本質

1. フル・ゴスペル、後の雨、使徒的信仰、ペンテコステ

3. 初期北米ペンテコステ主義の強み

1. 終末論的希望のメッセージ
2. 並はずれた人種間の包摂性
3. 聖霊の経験—入会の儀式というよりも、新しい時代に生かされていることを確信させる神秘的出会い
4. 教理よりも、神経験、証しを中心とする物語神学
5. 経験の強調は、認識論的パッケージを粉碎する

4. 初期北米ペンテコステ主義の弱み

1. 期待された終わりの日—起こらなかった
2. 彼らは戦えば闘うほど、ますます増殖していった
3. パーハムとシーモアの不和：人種間相互の融合理解の欠如、黒人の霊性理解の欠如
4. パーハムの“アングロイスラエル”主義への没頭

5. ペンテコステ主義における課題

1. 教義・信条への反対からスタート、しかしすぐに教理的論争
2. 伝統的教派からの孤立・拒絶・あざけり→アンチ・エキュメニカルへ
3. それにも関わらず、健康的な伝染病が拡散するかのような、沸きたち、湧出してくる霊性→情緒的に人々に触れ、経験への強調は証しと個人的接触によって広がって
4. みすぼらしい起源との接触を失い、富裕な中間層の有徳の霊的イデオロギーと化すなら→ペンテコステ主義はもはやキリストの模範にならう運動足り得ないものに



B. **組織神学軸**：ペンテコステ主義に関する**教理的鳥瞰図**
の中における“**レストレーション運動**”の位置

1. 御霊の**神学**
2. **宣教**、伝道、終末論
3. 聖書と“**フル・ゴスペル**”
4. ペンテコステ派の**教育**とエキュメニズム
(世界教会運動)
5. **社会**におけるペンテコステ派とカリスマ派
6. **グローバリゼーション**とペンテコステ主義の**将来**



B-15. グローバリゼーション とペンテコステ主義の将来

1. “**世界的規模**” の現象としてのカリスマ的キリスト教
2. 広く行き渡った**今日的アピール**
3. 世界のキリスト教界への**ペンテコステ主義の衝撃**
4. **カリスマ的キリスト教の将来**



E. 広義のレストレーション運動の将来： カリスマ的キリスト教の未来の視点から

1. 成長について

1. 最速の成長カーブ今日と将来
2. 多層性により、成長は減速していない
3. 教派内においさえ、刷新と変貌

2. メッセージについて

1. 古典的フル・ゴスペル
2. 聖書的字義主義、しかし直感的・情緒主義
3. 分裂・分派的傾向、しかし普遍的共同と社会的変革力
4. 真理の多様な解説、しかしひとつにする力としての御霊の経験

3. 創造的な方法について

1. 世界的と異なる成分
2. 創造的な方法—文化的に充当された不変の形式を、多国籍の領域に再包装、再種まき
3. 単数形のペンテコステ主義と複数形のペンテコステ主義
4. 近未来において、カリスマ的キリスト教のバイタリティー衰微の兆しなし
5. 全教会にとって—衰微とその結果としての忘却からの救い



F. まとめ

1. KBIは、**カリスマ運動**に位置づけられる
2. しかしKBIは、**広義のペンテコステ主義**、また**広義のレストレーション運動**にも包摂される
3. そのような意味で、Allan Andersonの世界的名著“**Introduction to Pentecostalism**”の翻訳・出版への取り組みは、日本における**ペンテコステ主義**の**理解・普及**、**分析・評価**、**方向性の示唆**において歴史的貢献となるのではないか
4. ICIで、この名著をテキストにした**DVD講義録**を計画中。祈りに覚えていただきたい。



一宮基督教研究所（略称：ICI） 資料リスト・注文方法のご案内

- ICIでは、以下のリストにありますようにペンテコステ的経験と福音主義神学の調和的理解に関する数多くの諸資料を作成し続けています。
- ご希望の資料がありましたら、遠慮なく電話・ファックス・電子メール・ハガキ等でご注文ください。注文されますと、「郵便振替用紙」を同封してお送りします。
- 注文先
- 〒671-4135 兵庫県宍粟市一宮町安黒389
一宮基督教研究所 安黒務
- TEL & Fax : 0790-72-0235(安黒石油)
- 電子メール: aguro@mth.biglobe.ne.jp

